



日本のまんなか
水と緑といで湯の街渋川市

令和 8 年 9 月第 2 回市長定例記者会見

- ・日時 令和 8 年 9 月 28 日(月)
午後 1 時
- ・場所 市役所本庁舎記者会見室

- 1 次世代モビリティを活用した社会実験を開始します(資料 1)
- 2 日常の買い物に困りごとを抱える市民を支援する「買物支援総合相談窓口」を開設します(資料 2)
- 3 渋川市にぎわい創出イベント補助金を活用した「黒井峯夕音フェス&宝探し FESTIVAL vol. 5」が開催されます(資料 3)
- 4 物価高騰の影響を受けている農業者に補助金を交付します(資料 4)
- 5 「第 6 回アニメ『美男高校地球防衛部』シリーズ×渋川伊香保温泉コラボ 出向！鬼怒川熱史主任」を実施します(資料 5)
- 6 認知症を正しく知り、予防と備えについて学ぶ「誰もが認知症になる時代」のソナエ&予防セミナーが開催されます(資料 6)
- 7 子どもの成長を支援するための大人の関わり方を学ぶ「子どもを真ん中に置く大人のアップデート」講演会が開催されます(資料 7)
- 8 令和 8 年度の「共生社会推進月間」に実施する取り組みを紹介します(資料 8)
- 9 熊本地震派遣職員による市長報告を実施します(資料 9)

その他資料提供

- ・令和 8 年度「しぶかわ環境まつり」を開催します(資料 10)
- ・しぶかわ推し第 2 弾(絶景)で新たに 2 件を認定しました(資料 11)

○次回開催予定

日時：令和 8 年 10 月 13 日(火) 午後 1 時
場所：渋川市役所本庁舎 2 階 記者会見室

市長の主な週間日程

月 日	時間	件 名	場 所	所 管
9月28日(月)	9:00	全庁調整会議	市役所本庁舎	総合政策課
	13:00	市長定例記者会見	市役所本庁舎	広報課
	18:30	地域医療支援病院運営委員会	渋川医療センター	健康増進課
9月29日(火)	9:15	第53回渋川広域知的障害者福祉月間記念行事	市役所本庁舎	社会福祉課
	10:00	長寿者顕彰	市内	高齢福祉課
	18:00	渋川商工会議所青年部 座談会・納涼会	プレヴェール渋川	商工課
9月30日(水)	13:30	渋川市戦没者追悼式	渋川市民会館	社会福祉課
	18:00	第80回国民スポーツ大会渋川市出場者壮行会	市役所第二庁舎	スポーツ課
10月1日(木)	10:00	伊香保町地区敬老会	伊香保体育館	高齢福祉課
10月2日(金)				
	17:30	市内郵便局長との意見交換会	ヴァンティエ	秘書課
10月3日(土)	9:30	公立幼稚園運動会	北橋幼稚園	こども課
	10:00	八木原自治会敬老会	八木原会館	高齢福祉課
	13:00	第21回大同ふれあいフェスティバル	中村・上郷線跨線橋下	商工課
	14:00	(公社)全日本印章業協会第26回全国印章技術大競技会表彰式	坐山みなかみ	秘書課
	18:30	伊香保地区をモデルに「人口減少対策講演会」	金島ふれあいセンター	総合政策課
10月4日(日)	9:00	しぶかわ環境まつり	子持ふれあい公園	環境課
	13:30	郷土史講座「小栗上野介について」	金島ふれあいセンター	市立図書館
10月5日(月)	9:00	全庁調整会議	市役所本庁舎	総合政策課
	13:30	長寿者顕彰	市内	高齢福祉課

市長の主な週間日程

月 日	時間	件 名	場 所	所 管
10月5日(月)	9:00	全庁調整会議	市役所本庁舎	総合政策課
	13:30	長寿者顕彰	市内	高齢福祉課
10月6日(火)	13:20	群馬県予算等に関する要望書の提出	群馬県庁	財政課
10月7日(水)	17:00	群馬県市長会研修	山形市内	秘書課
10月8日(木)	9:30	第88回全国都市問題会議	やまぎん県民ホール	秘書課
10月9日(金)	9:30	第88回全国都市問題会議	やまぎん県民ホール	秘書課
10月10日(土)	8:50 10:00 11:30	白ばら幼稚園運動会 子持地区敬老大会 津久田人形芝居櫻座 第6回地域鑑賞会	渋川北小学校校庭 JESCOアリーナ渋川 津久田人形舞台	こども課 高齢福祉課 文化財保護課
10月11日(日)	8:30 8:30 8:45	北橘秋のスポレク祭 古巻地区スポーツレクリエーション大会(遅れて出席) 金島地区市民運動会(遅れて出席)	北橘運動場 古巻中学校校庭 金島小学校校庭	北橘公民館 古巻公民館 金島公民館
10月12日(月)	8:30 9:30	赤城ふれあいスポーツフェスティバル 渋川地区公民館交流レクリエーション大会	木暮組スポーツパーク 赤城アリーナ 渋川北小学校校庭	赤城公民館 渋川公民館
10月13日(火)	9:00	全庁調整会議	市役所本庁舎	総合政策課
	13:00 15:00	市長定例記者会見 広域組合 管理者・副管理者会議	市役所本庁舎 広域組合事務所	広報課 広域組合
	19:00	渋川地域保健医療対策協議会 ほか	渋川保健福祉事務所	健康増進課

次世代モビリティを活用した社会実験を開始します

渋川市は、市と包括連携協定を締結しているあいおいニッセイ同和損害保険(株)からの提案を契機に、BRJ(株)と連携し、三輪電動シートボードと電動アシスト自転車を活用した社会実験を実施します。

渋川駅周辺、伊香保温泉、道の駅こもち及び渋川市役所周辺を拠点に、短距離移動の利便性、観光・地域回遊、自動車交通の分散、安全性などを検証します。

1 背景・目的

渋川市では、鉄道駅、観光地、道の駅、公共施設等に到着した後の短距離移動手段が限られており、観光客の回遊不足、特定地域への自動車交通の集中、公共施設間の移動の不便さなどが課題となっています。

また、渋川市内の観光施設、飲食店、商業施設、公共施設等は、一定の範囲に点在しているものの、徒歩では負担があり、路線バスやタクシーを利用するほどではない距離を自由に移動する手段が少ない状況です。

そこで、渋川市と包括連携協定を締結しているあいおいニッセイ同和損害保険(株)からの提案を受け、同社と資本業務提携するBRJ(株)が実施主体となり、期間限定の社会実験を行います。

BRJ(株)は、観光庁の令和8年度「オーバーツーリズムの未然防止・抑制をはじめとする観光地の面的受入環境整備促進事業」の採択を受けており、同事業を活用して今回の実証を実施します。

利用実績やGPSデータ等から、利用ニーズ、安全性、回遊促進効果、地域の受容性、運営上の課題等を把握し、今後の観光振興、二次交通、公共施設間移動等に係る施策の検討に活用します。

2 実証の概要

- (1) 実施主体 BRJ(株)
- (2) 実証期間 令和8年10月10日(土)～令和9年1月24日(日)(予定)
 - ※実証エリアにより、利用開始日が異なる場合があります
 - ※伊香保温泉では、積雪・凍結等により安全な運行が難しい場合、期間を短縮することがあります
- (3) 使用車両 三輪電動シートボード15台、電動アシスト自転車5台(計20台)
 - ※三輪電動シートボードは16歳以上が利用できます(運転免許不要)



三輪電動シートボード(15台)



電動アシスト自転車(5台)

- (4) 利用料金 15分250円
 (5) 利用時間 午前7時～午後7時
 (6) 利用方法 専用アプリによる利用登録・解錠・決済、指定ポートへの返却
 (7) 実証エリア及びポート

エリア	ポート	検証内容
渋川駅周辺	渋川駅北駐輪場	駅を起点とした市街地への回遊や公共交通との接続
伊香保温泉	伊香保ロープウェイ 不如帰駅	駐車場等からの乗換え、交通分散、温泉街内の回遊
道の駅こもち	道の駅こもち駐車場	道の駅を起点とした周辺地域への移動需要
市役所周辺	本庁舎駐車場、第二庁舎東駐輪場	一般利用と職員の公務利用を組み合わせた共同利用

- (8) 安全対策
 専用アプリによる利用管理、ヘルメットの着用推奨、交通ルールテスト、GPSによる車両管理、ジオフェンス、ノーライドゾーン、夜間の利用制限等

3 安全講習・試乗体験

社会実験に先立ち、小型モビリティの交通ルールや車両特性への理解を深めてもらうため、「しぶかわ環境まつり」の会場で安全講習と試乗体験を実施します。

- (1) 日 時 令和8年10月4日(日) 午前9時～正午
 (2) 会 場 子持ふれあい公園(しぶかわ環境まつり会場内)
 (3) 主 催 一般社団法人 多様なモビリティの安全性向上推進協会
 ※同協会は、あいおいニッセイ同和損害保険(株)とBRJ(株)が令和6年9月に設立し、交通ルールや乗り物としての特性の普及・啓発に取り組んでいます
 (4) 内 容 特定小型原動機付自転車等の交通ルールに関する講習、三輪電動シートボード等の試乗体験

4 記者会見出席者

- ・あいおいニッセイ同和損害保険(株)
 群馬支店 地域戦略室 室長 前田 篤徳(まえだ あつのり) 様
 - ・BRJ(株)
 代表取締役社長 宮内 秀明(みやうち ひであき) 様
- ※記者会見終了後、渋川市役所本庁舎駐車場において、実証で使用する次世代モビリティの車両お披露目及び試乗を行います

参考

1 特定小型原動機付自転車

特定小型原動機付自転車は、令和5年7月1日の改正道路交通法の施行により新たな交通ルールが適用された車両区分で、一定の基準を満たす電動キックボード等が該当します。運転免許は必要ありませんが、16歳未満は運転できず、信号や道路標識に従うこと、原則として車道を通行することなど、定められた交通ルールを守る必要があります。

今回の実証では、交通ルールの周知に加え、専用アプリによる利用管理、交通ルールテスト、GPSによる車両管理等の安全対策を行います。

2 あいおいニッセイ同和損害保険株式会社との包括連携協定

渋川市とあいおいニッセイ同和損害保険(株)は、令和4年5月23日に包括連携協定を締結しました。渋川市と同社がそれぞれの資源やノウハウを生かし、地域課題の解決や地域活性化につなげることを目的としたもので、同日には「共生社会実現のまち渋川市」推進共同宣言にも署名しています。

令和4年度には、同社から企業版ふるさと納税による寄附を受けています。今回の実証事業も、包括連携協定を契機とした取り組みの一つです。

3 BRJ株式会社

BRJ(株)は、2020(令和2)年12月に設立され、東京都港区に本社を置く企業です。次世代モビリティを活用した移動サービスやシェアリングサービスの企画・運営等に取り組んでおり、令和5年8月31日には、あいおいニッセイ同和損害保険(株)と資本業務提携契約を締結しています。

今回の社会実験では、実施主体として、車両・システムの管理、利用者対応、事故・苦情対応、データ収集・分析等を担います。

■問い合わせ先

総合政策部 部長 須田 佳匡(内線2410)

担当：総合政策課(電話0279-25-8419)

課長 小野 篤史(内線2420)

未来政策係長 齋藤 大輔(内線2423)

日常の買い物に困りごとを抱える市民を支援する 「買物支援総合相談窓口」を開設します

渋川市は、近隣店舗の撤退や高齢化等に伴い、日常の買い物に困りごとを抱える市民からの相談を総合的に受け付け、各種買物支援サービスや福祉・交通施策等へつなぐ「買物支援総合相談窓口」を商工課内に開設します。

相談内容に応じて最適な支援へつなげるとともに、ニーズの把握・分析を通じて、制度の見直しや新たな支援策の創出を図ります。

1 概 要

人口減少や高齢化の進行、運転免許返納者の増加などにより、日常の買い物に不便を感じる市民が増加しています。一方で、渋川市や渋川市社会福祉協議会、民間事業者などでは、様々な買物支援サービスを実施していますが、「どこへ相談すればよいかわからない」「利用できる制度がわからない」といった声があります。

このため、渋川市は、商工課内に「買物支援総合相談窓口」を開設し、相談内容や生活状況を丁寧に聞き取り、関係部署や関係機関と連携しながら、相談者一人ひとりに適した支援へつなげます。また、相談内容を集約・分析することで、地域の課題やニーズを把握し、今後の買物支援施策の充実につなげます。

2 開 設 日 令和8年10月1日(木) ※開設日以降、随時相談を受け付けます

3 相談窓口

- | | |
|----------|--------------------------|
| (1) 名 称 | 買物支援総合相談窓口 |
| (2) 設置場所 | 商工課内（渋川市役所第二庁舎） |
| (3) 電話番号 | 0279-22-2596 |
| (4) 受付時間 | 平日の午前8時30分～午後5時15分 |
| (5) 受付方法 | 電話、窓口（対面）、市ホームページ問合せフォーム |

4 相談内容（主な支援）

相談者の状態や困りごとに応じ、主に以下の3つの分類に基づき最適な支援策へつなぎます。

- (1) 情報不足型（本人は動けるが情報が届いていない場合）
 - ・「しぶかわ宅配サービス店ガイド」の案内【商工課】
 - ・民間移動販売（とくし丸等）の利用・巡回ルート情報案内【商工課】
 - ・新規出店や買物環境に関するご意見・情報提供【企業誘致推進室】
- (2) 移動困難型（店舗に行きたいが移動手段がない場合）
 - ・デマンドバス「しぶのり」の運行・利用案内【交通政策課】
 - ・高齢者バス・タクシー割引及びタクシー利用券の交付【交通政策課】
 - ・ささえあい買い物事業「あいのり」（相乗りタクシー送迎）【社会福祉協議会】
 - ・施設間巡回バス「福祉のあし」【社会福祉協議会】

- (3) 身体的困難型（外出自体が困難または店舗内移動が不可能な場合）
 - ・重度心身障害者福祉ハイヤー料金助成【社会福祉課】
 - ・ヘルパー等の派遣による買物支援【高齢福祉課】
 - ・「あいのりプラス」（電話注文・宅配代行サービス）【社会福祉協議会】

5 利用方法（相談・接続フロー）

- (1) 対象者
日常の買い物に困りごとや不安を抱えている市民又はその家族
- (2) 相談方法
電話・窓口・問合せフォームにて、困りごとの相談を受け付けます
- (3) ヒアリング
必要に応じて住まい、年代、移動手段、買物頻度等を聞き取ります
- (4) マッチング
既存の制度・サービスから最適な選択肢をご案内します（複数可）
- (5) フォローアップ
利用後の状況確認、他支援への切り替え提案、新たな課題の把握を行います

6 周知方法

- (1) 「広報しぶかわ」、市ホームページへの掲載
- (2) チラシを商工課、各行政センター、地域包括支援センター等へ設置
- (3) 民生委員、ケアマネジャー、社会福祉協議会等への周知協力依頼

7 その他

社会福祉課、高齢福祉課、商工課、企業誘致推進室、交通政策課及び渋川市社会福祉協議会等が緊密に連携する庁内横断的な支援体制です。

単なる窓口での案内に留まらず、相談データの集約・分析を通じて地域ごとの買物課題や潜在的ニーズを把握し、既存施策の見直しや新たな支援策の創出・ブラッシュアップへつなげていく循環型の取り組みです。

8 記者会見出席者

渋川市社会福祉協議会 地域福祉課長兼ボランティアセンター所長
登坂 将志（とさか まさし）さん

■問い合わせ先

商工観光部 部長 柴田 宏（内線4899）

担当：商工課（電話0279-22-2596）

課長 山田 量俊（内線4890）

商工振興係長 保科 陽介（内線4895）

～住民の困りごとを受け止め、各担当・事業へつなぎます～

買物に
お困りの方は
ご相談ください!



買物支援 総合相談窓口 を開設しました!



渋川市役所 商工課内

あなたの状況に合った支援やサービスをご案内します。

相談の流れ

① 相談の受付

買物の困りごとを
ご相談ください。



② 聞き取り

お住まいや状況を
お聞きします。



③ サービスのご案内

利用できる支援や
サービスをご案内
します。



④ フォローアップ

利用後も状況を確認し、
必要に応じて
再調整します。



こんな支援・サービスをご案内します!

①

宅配サービス
の利用



自宅まで商品をお届けします。

②

移動販売
の利用



自宅近くで
買い物ができます。

③

人の支えによる
支援



地域の支えで
買物をサポート
します。

④

外出困難な方
の支援



買物代行や家事
などの支援を
ご案内します。

⑤

移動手段の
支援



バス・タクシーを
使った買物の行き方を
ご案内します。

⑥

買物環境に
関すること



買物環境に関する
ご意見・情報提供。

ご相談は
こちらへ

買物支援総合相談窓口

☎ 0279-22-2596

受付時間 平日 8:30～17:15

受付場所: 渋川市役所第二庁舎 商工課内 (渋川市石原6-1)



電話



窓口



問合せ
フォーム



ホームページ

一人で悩まず、お気軽にご相談ください!

資料3

渋川市にぎわい創出イベント補助金を活用した 「黒井峯夕音フェス&宝探しFESTIVAL vol. 5」が 開催されます

令和8年10月12日(祝・月)に黒井峯遺跡において、「黒井峯夕音フェス&宝探しFESTIVAL vol. 5」が開催されます。

世代を問わず楽しめる企画で地域のにぎわいを創出するとともに、渋川市が誇る国指定史跡「黒井峯遺跡」の魅力をPRします。

1 概 要

渋川市にぎわい創出イベント補助金を活用した、「黒井峯夕音フェス&宝探しFESTIVAL vol. 5」が開催されます。

このイベントは、今回で5回目の開催となる「宝探しFESTIVAL」を主催するははーずが、「黒井峯夕音フェス」を主催してきた黒井峯夕音フェスプロジェクトと連携し、初めて両イベントを合同して開催されるものです。

子どもから大人まで楽しめる様々な催しのほか、古墳時代の歴史や文化を体験できる企画をとおして、地域のにぎわい及び交流の場の創出と、国指定史跡である黒井峯遺跡の魅力をPRを目的として実施されます。

2 日 時 令和8年10月12日(祝・月) 午前10時～午後5時

3 場 所 国指定史跡 黒井峯遺跡(渋川市北牧3-42)
※雨天の場合は子持中学校体育館にて開催

4 内 容

- (1) 謎解き宝探し
- (2) 黒井峯タイムトラベルミニツアー(集合時間:午前11時)
遺跡の解説を聞きながら、VR(仮想現実)ポイントを巡ります。
- (3) キッチンカー・飲食ブース
- (4) 物販・ワークショップ
勾玉作り、古代衣装作り、古代米おにぎり販売、駄菓子販売など
- (5) フリーマーケット
- (6) ステージイベント
黒井峯遺跡の歴史紹介、音楽パフォーマンス、古墳人なりきりファッションショー(来場者参加型)、盆踊り(来場者参加型)など

5 入 場 料 無料

6 主 催 ははーず

7 共 催

黒井峯夕音フェスプロジェクト、ヤマアソビKIDSClub、
ユースセンターよはく、しぶかわKODAMAプロジェクト

8 後 援 渋川市教育委員会

9 記者会見出席者 はは一ず 代表 佐藤 美幸（さとう みゆき）さん

参考

1 「はは一ず」について

渋川市や近郊の父母たちによる学習支援や居場所作り、多世代交流サークルなど、『楽しく学ぼう』を目的に活動している団体です。

2 「黒井峯夕音フェスプロジェクト」について

これまで大きな祭りが無かった子持地区に、人々が集い心を一つにできる場所をつくりたいという思いから、過去に4回「黒井峯夕音フェス」を主催している団体です。

3 「ヤマアソビKIDSClub」について

「自然の中でめいっぱい遊ぶ」をテーマに、山、森、川、畑などいろいろなフィールドで「普段の生活にはない体験」を重ね、子どもたちに豊かな心と体を育んでもらおうというクラブ活動です。

4 「ユースセンターよはく」について

高校生や大学生などのユース世代が、放課後などに思い思いに好きなことをして過ごせる学校以外の居場所として、令和6年4月に開所しました。渋川市内の多様な人・場所・コトとつながり、高校生を中心とした社会活動を行っています。

5 「しぶかわKODAMAプロジェクト」について

公教育においても子どもたちを中心に置いた学び方を推進していきたいという願いを込めて、多様な学び方を許容できる大人を増やし、探求型学習の良さを体験してもらうためのプロジェクトを渋川市内で行っています。

■問い合わせ先

商工観光部 部長 柴田 宏（内線4899）

担当：商工課（電話0279-22-2596）

課長 山田 量俊（内線4890）

商工振興係長 保科 陽介（内線4895）

コラボ開催/ 黒井峯夕音フェス & vol.5 宝探しFESTIVAL

なぞをといて宝を見つけ
最高の夕日を眺めながら
古墳時代におもいをはせよう

10/12 祝・月
10:00~17:00

渋川市子持地区
黒井峯遺跡
群馬県渋川市北牧3-42
雨の場合は
子持中学校体育館

キッチンカーや
楽しいワークショップ
素敵なお店もくるよ♪
詳細はQRコードから



主催: ははーず 共同主催: 黒井峯夕音フェスプロジェクト
ヤマアソビKIDS CLUB ユースセンターよはく しぶかわKODAMAプロジェクト
後援: 渋川市教育委員会

wing-horse
トランポリン教室

生徒随時
募集中!!

※問い合わせ先☆
101 有限会社
代表
今井 知江子
080-5674-7748

パールダンスクルー
DANCE CREW

SUNK SWEET
フランク
スイーツ

協賛 都丸写真事務所



前開きパジャマ
循環型社会
プロジェクト



GOUTAN
ガータン
焼しにメディアコムという顔ある。



miyuki.meamo_
isshogatanoshii



CHAI cafe
ろはみみ



資料4

物価高騰の影響を受けている農業者に補助金を交付します

農業生産資材の価格高騰により、経済的な影響を受けた渋川市の農業者に対して、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、営農意欲の継続と経済的負担軽減を図ることを目的として、最大15万円を交付します。

1 概 要

物価高騰が続く昨今において、農業では、農業資材や化学肥料、燃料等の価格上昇が著しいにもかかわらず、農産物等の販売価格への転嫁が難しい状況が続いています。その中での農業経営は、非常に厳しくなっています。

渋川市は、市内農業の活性化に向けて、これからの農業を担っていく農業経営者の負担軽減を図るため、補助金を交付します。

2 補助対象者

令和7年中の農業販売額が50万円以上の農業者及び農業法人のうち、次の要件を全て満たす者。

- (1) 令和8年10月1日時点で渋川市に住所を有し、引き続き市内に住所を有する者（法人含む） ※渋川市長から認定農業者又は認定新規就農者として認定を受けている場合は、この限りでない
- (2) 渋川市内で農業を営んでおり、補助金受領後も営農を継続する意志があること
- (3) 令和7年分の確定申告を行った者又は直近の事業年度の決算を行った法人
- (4) 市税等を滞納していないこと
- (5) 渋川市暴力団排除条例（平成24年渋川市条例第30号）第2条第1号に規定する暴力団又は同条第2号に規定する暴力団員でないこと
- (6) 法令及び公序良俗に反していないこと

3 補助対象経費及び補助金額

令和7年分の確定申告又は直近の決算書における「肥料費」、「飼料費」、「農薬衛生費」、「諸材料費」、「動力光熱費」の合計額に30%を乗じた額

※1,000円未満の端数は切り捨て

4 補助上限額

- (1) 認定農業者及び認定新規就農者＝15万円
- (2) 認定農業者及び認定新規就農者以外の農業者及び農業法人＝3万円

5 申請手続

次の申請書類等を農林課へ持参又は電子メールで提出してください。

〈個人・法人共通〉

- ① 渋川市農業者物価高騰対策支援事業補助金交付申請書兼請求書
- ② 申請者名義の通帳の写し（金融機関名、支店名、支店番号、口座種類、口座番号及び口座名義人が確認できるもの）
- ③ 納税証明書（滞納のない証明書用） ※令和8年1月1日時点で、渋川市外に住所を有する場合のみ提出。課税地の市町村が発行するもの

〈個人の場合〉

- ①本人確認書類の写し（運転免許証、個人番号カード等）
- ②令和7年分の青色申告決算書又は収支内訳書写し

〈法人の場合〉

- ①直近の事業年度の決算報告書の写し
- ②履歴全部事項証明書又は所在地証明書の写し
- ③直近の事業年度の法人税申告書及び法人事業概況説明書の写し

6 申請受付期間 令和8年10月1日(木)～12月31日(木)

7 周知方法 広報しぶかわ、市公式ホームページに掲載

8 予算額 3,801万円
(内訳) 認定農業者又は認定新規就農者＝15万円×179件＝2,685万円
上記以外＝3万円×372件＝1,116万円
※令和8年度一般会計補正予算第3号で措置済

参考

渋川市農業経営体数：801件（2025農林業センサス（確定値））

農業販売額50万円以上：551件

- ・渋川市認定農業者数：176件（うち広域認定8件(令和8年4月30日現在)）
- ・渋川市認定新規就農者数：3件（うち市外1件）

■問い合わせ先

農政部 部長 須田 茂之（内線4720）

担当：農林課（電話0279-22-2593）

課長 山田 豊（内線4971）

担い手支援係長 川田 美穂子（内線4975）

報道解禁日時

令和8年9月28日(月) 午後6時

「第6回アニメ『美男高校地球防衛部』シリーズ× 渋川伊香保温泉コラボ 出向！鬼怒川熱史主任」 を実施します

渋川市は、アニメツーリズムを推進するため、伊香保温泉が舞台イメージに描かれているアニメ映画「美男高校地球防衛部ETERNAL LOVE！」とコラボレーションした企画「第6回アニメ『美男高校地球防衛部』シリーズ×渋川伊香保温泉コラボ 出向！鬼怒川熱史主任」を、10月1日(木)から実施します。

1 概 要

「美男高校地球防衛部」の初回アニメ放送から10周年を記念した映画「美男高校地球防衛部ETERNAL LOVE！」は、2025（令和7）年1月24日に公開され、登場キャラクターたちの10年後の姿を描き注目を集めました。作中に登場する眉難市役所は、渋川市役所第二庁舎をモデルに描かれ、登場キャラクターの一人である鬼怒川熱史が眉難市役所の納税課主任として勤めています。

今回のコラボレーション企画では、姉妹都市協定を結んでいる架空の都市「眉難市」から鬼怒川熱史主任に出向してもらい、渋川市役所第二庁舎や伊香保温泉をはじめとする渋川市内の施設において、観光案内や情報発信の業務を担当してもらいます。アニメの聖地で、映画の内容に合わせたコラボ企画を行うことで、アニメファンを中心としたリピーターの誘客による観光消費の向上及び本市のアニメツーリズム振興を図ります。

※「美男高校地球防衛部」シリーズと伊香保温泉のコラボレーション企画について

アニメ「美男高校地球防衛部」シリーズは、伊香保温泉石段街が舞台のモデルとなっており、眉難（びなん）高校に通う地球防衛部の男子高校生たちが愛の王位継承者バトルラヴァーズに変身し、怪人と戦うストーリーです。2015年1月に第1期からテレビ東京系列で放送後、第2期、劇場OVA（オリジナルビデオアニメーション）、第3期、10周年記念の劇場版公開、第4期まで制作されました。

「美男高校地球防衛部」シリーズと伊香保温泉のコラボレーション企画は、これまで5回にわたり実施してきました。6回目となる今回は、映画の内容にリンクさせた施策を行い、ファンの方により楽しんでいただけるような内容となっています。また、企画の実施に当たっては、「美男高校地球防衛部」シリーズの著作権を管理する(株)バンダイナムコフィルムワークスと連携することで、質の高い告知、誘客促進、地域連携を目指しています。

2 イベントタイトル

「第6回アニメ『美男高校地球防衛部』シリーズ×渋川伊香保温泉コラボ
出向！鬼怒川熱史主任」

3 内 容

観光案内看板として、描き下ろし等身大パネル、汎用SDメッセージデザインデータを作成し、季節やイベントごとに合わせて関係施設に設置し、観光案内や情報発信を実施します。季節や開催イベントに合わせて、設置場所を都度変更することでファンや観光客の周遊促進を図ります。

※設置した様子は、市公式SNS等で発信します

※汎用SDメッセージデザインデータは情報発信の際に活用します



▲等身大パネル



▲SDメッセージデザインデータ

4 実施時期 令和8年10月1日(木)～通年

5 実施場所 渋川市役所第二庁舎、渋川市内全域

参考

『美男高校地球防衛部』シリーズとのこれまでのコラボ実績

- (1) 第1弾 期間：平成28年9月10日～10月10日
内容：キャラクターの等身大パネル設置、石段街でのスタンプラリー、
コラボ宿泊プラン販売、声優トークショーなど
- (2) 第2弾 期間：平成30年7月27日～10月8日
内容：路線バスを活用した周遊スタンプラリー、アニメで描かれる架
空の都市「眉難市」と渋川市の姉妹都市協定締結、キャラクタ
ーの伊香保温泉観光宣伝隊員就任、コラボ宿泊プラン販売など

- (3) 第3弾 期間：令和3年6月1日～令和4年5月31日
内容：石段街でのデジタルスタンプラリー、原画展、観光PRアニメ映像制作、コラボ宿泊プラン販売など
- (4) 第4弾 期間：令和4年10月13日～令和5年9月30日
内容：伊香保ロープウェイラッピングの実施、石段街の装飾、石段の湯装飾、コラボスイーツ販売、コラボ宿泊プラン販売など
- (5) 第5弾 期間：令和7年1月31日～3月31日
内容：伊香保周辺でのデジタルスタンプラリー、「IKAHO」オブジェライトアップ、原画展、コラボメニュー販売、コラボ宿泊プラン販売など

■問い合わせ先

商工観光部 部長 柴田 宏（内線4899）

担当：観光課（電話0279-22-2873）

課長 高橋 巧（内線4880）

観光振興係長 藤井 隆（内線4881）

資料6

認知症を正しく知り、予防と備えについて学ぶ 「誰もが認知症になる時代」のソナエ&予防セミナーが 開催されます

超高齢社会の進行に伴い、誰もが当事者または家族として関わる可能性のある認知症についての理解を深めるとともに、日頃から実践できる認知症予防の取り組みや、認知症になった場合の支援制度などについて学ぶ、「誰もが認知症になる時代」のソナエ&予防セミナーが開催されます。

1 概 要

認知症に対して本人や家族が将来に備える機会を提供することで、認知症になっても希望を持ち、自分らしく安心して暮らし続けられる地域づくりを行うことを目的としたセミナーが、インクルーシブ実行委員会の主催により開催されます。

超高齢社会の進行に伴い、認知症は誰もが当事者または家族として関わる可能性のある身近な社会課題となっています。セミナーでは、認知症に関する正しい知識を学ぶとともに、日常生活で実践できる認知症予防の取り組みや、認知症になった場合に備えるための成年後見制度・任意後見制度などについて学びます。

この事業は、誰もが安心して暮らし続けられる共生社会の実現に資することから、「しぶかわ未来共創推進事業補助金」の交付対象事業として渋川市が採択し、実施されるものです。

2 日 時 令和8年10月18日(日) 午前11時～午後0時30分

3 会 場 渋川公民館(渋川市役所第二庁舎1階・渋川市石原6-1)

4 内 容

- (1) 認知症を知る
- (2) 認知症になった場合の生活を知る
- (3) 認知症になった場合の支援制度とは
- (4) 認知症になっても自分らしく生き抜くには
- (5) 認知症になりにくい生活とは

5 講 師 一般社団法人日本アレルギーらいふ協会
専門アドバイザー 佐々 和亮(ささ かずあき)さん

6 定 員 80人(先着順)

7 参 加 料 無料

8 参加方法 事前申し込み不要。当日直接会場へ

参考

1 「インクルーシブ実行委員会」について

障害や疾患等の様々な事情を抱える人が不利益を被ることがないように、渋川市にインクルーシブ教育を根付かせ、市民理解を深めることを目的に設立された団体です。

令和6年度に「障害者雇用の理解を深めるための討論会」や「障害者に対する合理的配慮に関するセミナー」を、令和7年度には「災害時における合理的配慮を考えるパネルディスカッション」を開催し、誰もが安心して暮らせる地域社会の実現を目指し、活動を行っています。

2 佐々 和亮 氏について

放送局、広告代理店、法律事務所、社会福祉活動を経て、現在はNPO法人任意後見利用促進協会の理事長を勤めています。実父の認知症・要介護を8年間支えた経験を契機に、認知症に関する講演活動や任意後見制度の普及促進に取り組んでいます。

3 「しぶかわ未来共創推進事業補助金」について

渋川市の課題解決や魅力向上を目的とし、まちづくりに役立つ講習会等の開催を支援する上限30万円（補助率10分の10）の補助金です。

4 令和8年度「しぶかわ未来共創推進事業補助金」採択事業

	事業名称	開催日	開催場所	主催者
1	心と身体を整える セミナー	7月11日	宮田商会 武道館渋川	まるっと渋川盛り 上げ隊実行委員会
2	「夢みる小学校・完結篇」 上映会&アフタートーク	8月29日	北橋公民館	渋川おやこ劇場
3	理解と配慮から始まる共生社会 ～アレルギーと防災、誰もが 安心して暮らせる地域へ～	9月13日	伊香保公民館	インクルーシブ 実行委員会
4	伊香保地区人口減少対策 講演会	10月3日(土)	金島公民館	NPO法人 地域価値プラス
5	「誰もが認知症になる時代」 のソナエ&予防セミナー 2026 SHIBUKAWA	10月18日(日)	渋川公民館	インクルーシブ 実行委員会
6	「子どもを真ん中に置く大 人のアップデート」講演会	10月24日(土)	渋川公民館	h u b

■問い合わせ先

総合政策部 部長 須田 佳匡（内線2410）

担当：総合政策課（電話0279-25-8419）

課長 小野 篤史（内線2420）

未来政策係長 齋藤 大輔（内線2423）

より良い渋川の町づくりセミナー

「誰もが認知症になる時代」の ソナエ&予防セミナー

ご参加無料



ご予約不要

超高齢化社会を迎え、認知症は誰にとっても身近な課題となっています。本セミナーでは、認知症に関する正しい知識を学ぶとともに、発症リスクを低減するための日常的な予防活動や、認知症になった場合に備えるための制度について理解を深めます。また、本人だけでなく家族や地域住民が認知症への不安を軽減し、安心して暮らし続けられる地域づくりに寄与することを目的とします。

❖開催日時❖

2026年10月18日(日)11時～12時30分

❖場所❖

渋川公民館（群馬県渋川市石原6番地1）

❖つぎのような方、ぜひご参加ください❖

- ◆ 50歳以上の中高年・シニア世代
- ◆ 認知症予防に関心のある一般市民
- ◆ 親の認知症が心配な家族・介護者
- ◆ 将来に備えたい現役世代
- ◆ 地域活動や高齢者支援に関わる方
- ◆ 民生委員、自治会役員、地域包括支援関係者
- ◆ 介護・福祉・医療関係者

❖主催❖

インクルーシブ実行委員会

❖後援❖

渋川市 / 国連 NGO JACE / (一社) 日本環境保健機構 / (一社) 寝室環境衛生管理協会

❖開催内容❖

1. 認知症を知る

- ・認知症とは
- ・認知症の種類
- ・認知症に向かう道のり
- ・認知症は治るのでしょうか？



2. 認知症になるとどうなるのかを知る

- ・お金／不動産／動産
- ・日常生活
- ・社会生活 etc.

3. 認知症になったらどうすればよいのか？

- ・成年後見制度を知りましょう

4. 認知症になっても自分らしく生きぬく方法

- ・「任意後見」とは
- ・最も経済的で安心安全な利用手順とは

5. よくある勘違いとは

- ・遺言書／エンディングノート／終活ノート

6. 「認知症になりにくい生活」を考える

- ・ADL／住まい／脳のリハビリ
- ・「思い出さんこんにちは」



7. 「認知症の入り口」を知りましょう

- ・思い当たりませんか？



❖講師紹介❖

佐々和亮様



一般社団法人インクルーシブコミュニティ協会 専門アドバイザー

■略歴■

横浜市生まれ。早稲田大学卒業。放送局、広告代理店、海事法律事務所、社会福祉活動を経て、NPO 法人 任意後見利用促進協会 ⑧ 理事長に就任。NPO 活動を始めたきっかけは、認知症・要介護になった実父を8年間支えた経験から「任意後見」の有用性を痛感したためである。2021年7月、疾病により「身体障害者1級」、「要介護認定者」となるもリハビリを続けながら活動を継続、現在に至る。

■主な活動実績■

2010年より2020年迄、11年継続して、神奈川県との連携講座（かながわコミュニティカレッジ）にて「任意後見」をテーマに講座を実施。主任講師を務め、延べ4,000名余りの受講生を輩出する。

- 特養、地域ケアプラザ、社協、企業団体等での研修会等を企画・実施（2006年～）
- 衆議院議員を対象とした勉強会を企画・実施（2011年10月）
- Yahoo!「フルライフマガジン」への寄稿（2015年～2016年）
- 日本音楽制作者連盟発行の「音楽主義」への寄稿（2017年）

■出版物■

- 『任意後見サポートキット』（2012年2月 / 文芸社）
- 『「任意後見」とは、たとえ「認知症」になっても自分らしく安心して暮らすための制度です。』（2020年7月 / kindle版）
- 2020年8月よりnoteで「We'll Win. ⑧2025 NET RADIO」の放送開始 → <https://note.com/entame2025/>

❖お問合せ❖

TEL:090-6415-8493 / メール :info@jeho.or.jp

子どもの成長を支援するための大人の関わり方を学ぶ 「子どもを真ん中に置く大人のアップデート」講演会が 開催されます

子どもの主体性や非認知能力を育む教育実践について学ぶとともに、講師や参加者同士の対話を通じて、「子どものために大人がどのようなアップデートをするべきか」を考えることを目的とした講演会が、令和8年10月24日(土)に渋川公民館で開催されます。

1 概 要

近年、社会では、リーダーシップや自制心、やり抜く力などの「非認知能力」が注目される一方、地域のつながりの希薄化などにより、地域が子育てに関わる機会が少なくなり、子育てに係る保護者の負担が大きくなっていることが課題となっています。

こうした中、子どもの主体性や多様な学びを尊重する教育実践と、地域コミュニティの運営経験を組み合わせ、子どもの成長を支える「大人の関わり方」について、市民がともに考える講演会が、渋川市内で大人と中高生との地域コミュニティを運営する団体「hub（ハブ）」の主催により開催されます。

この事業は、子育てしやすいまちの実現に資するものであることから、「しぶかわ未来共創推進事業補助金」の対象事業として市が採択し、実施されるものです。

※非認知能力とは

非認知能力は、「認知能力（学力や知能）」とは対照的に、数値化が難しい内面的な能力全般を指します。主に意欲・意志・情動・社会性に関わる3つの要素（①自分の目標に向けて粘り強く取り組む、②そのためにやり方を調整し工夫する、③友達と目標に向けて協力し合う）からなり、人生を豊かに生きるために重要な力とされています。

2 日 時 令和8年10月24日(土) 午後1時30分～4時20分

3 会 場 渋川公民館講義室（渋川市役所第二庁舎1階・渋川市石原6-1）

4 内 容

（1）講演会（午後1時30分～2時）

子どもの主体的な学びを実践するオルタナティブスクール「ヒロック」創設者の養手章吾（みのて しょうご）さんの講演により、子どもの個性を輝かせるための具体的な教育実践例を学びます。

(2) クロストーク・グループディスカッション (午後2時10分～4時20分)

講師の蓑手氏とh u b 代表の綿貫氏とのクロストークにより、「子どもが主体的に成長できる環境を、地域の大人はどのようにつくることができるのか」という視点から、子育てや地域づくりに必要な「大人力」について掘り下げます。

さらに、参加者同士のグループディスカッションを通じて、「地域の子どもたちのために、私たちはどのようなアップデートをするべきか」をテーマに対話し、それぞれの立場や経験を持ち寄りながら、地域全体で子どもを育むためにできることを考えます。

5 講 師

(1) 講演会

- ・ヒロック創設者 蓑手 章吾 さん

(2) クロストーク

- ・ヒロック創設者 蓑手 章吾 さん
- ・h u b 代表 綿貫 慈 (わたぬき めぐみ) さん

6 定 員 60人 (超えた場合は渋川市民優先の上で抽選)

7 対 象 子育てに興味・関心がある人

8 参 加 料 無料

9 参加方法

専用の申込みフォーム (右の2次元コード) から必要事項を入力して申し込んでください。



10 申込期限 令和8年10月18日(日) 午後4時

参考

1 「h u b」について

子どもたちが自らの力で成長していくことを支援する「第3の居場所」として、渋川公民館を拠点に、大人と中高生との地域コミュニティを運営する団体です。

公民館等の調理実習室で自分たちで夕飯を作って食べたり、おしゃべりやカードゲーム、勉強をしたりと、各自思い思いに過ごせる場所を提供しています。

2 「オルタナティブスクール」とは

公立でも私立でもない「もう一つの学校」という意味で使われ、公教育とは異なり、子どもの自主性に基づいた教育が行われています。

フリースクールが不登校や引きこもりになった子どもの受け皿となる場合が多い一方で、オルタナティブスクールは公教育とは違う教育方針や運営体制に共感した家庭が選択するという点に特色があります。

インターナショナルスクールなどと同様、一条校（義務教育課程）ではありません。

3 「ヒロック」について

令和4年4月に東京都世田谷区にオルタナティブスクールとして開校。「ワイルド＆アカデミック」な環境で、子どもが主役となって「育ち」や「学び」を主体的に勝ち取る福利（ウェルビーイング）を広げていく学校としています。

小学1～4年生を対象とする初等部、小学5～中学3年生を対象とする中等部があり、世田谷、代々木、吉祥寺の初等部3校と中等部1校の計4校で運営されています。

4 令和8年度「しぶかわ未来共創推進事業補助金」採択事業

	事業名称	開催日	開催場所	主催者
1	心と身体を整える セミナー	7月11日	宮田商会 武道館渋谷	まるっと渋谷盛り 上げ隊実行委員会
2	「夢みる小学校・完結篇」 上映会&アフタートーク	8月29日	北橋公民館	渋谷おやこ劇場
3	理解と配慮から始まる共生社会 ～アレルギーと防災、誰もが 安心して暮らせる地域へ～	9月13日	伊香保公民館	インクルーシブ 実行委員会
4	伊香保地区人口減少対策 講演会	10月3日(土)	金島公民館	NPO法人 地域価値プラス
5	「誰もが認知症になる時代」 のソナエ&予防セミナー 2026 SHIBUKAWA	10月18日(日)	渋谷公民館	インクルーシブ 実行委員会
6	「子どもを真ん中に置く大 人のアップデート」講演会	10月24日(土)	渋谷公民館	h u b

■問い合わせ先

総合政策部 部長 須田 佳匡（内線2410）

担当：総合政策課（電話0279-25-8419）

課長 小野 篤史（内線2420）

未来政策係長 齋藤 大輔（内線2423）

子どもを 真ん中に置く 大人のアップデート

～「正しさ」よりも「ありのまま」を受け入れる関わり方～

「子育てしやすいまち渋川」の実現に向け、保護者だけでなく、地域全体で子どもを育む「大人力」を高めるための気づきや具体的な方策を共有します。

参加費
無料

日時

10月24日(土)13:30-16:20

- ・受付 13:00～
- ・講演会 13:30～
- ・クロストーク
- ×グループディスカッション 14:10～

場所

渋川公民館 講義室

講演会



講師 荻手 章吾さん

東京で4校展開するオルタナティブスクール「HILLOCK初等中等部」を創設、運営。文部科学省学校DX戦略アドバイザー、デジタル庁デジタル推進委員も勤める。元公立小学校教員で、教員歴は14年。教鞭を持つ傍ら大学院にも通い、人間発達科学プログラムで修士修了。特別支援2種免許を所有。現在は教育コンサルタント会社「風と土」の代表として、様々な民間企業アンバサダーや小学校研究会講師、執筆活動などを行っている。

クロストーク

×

グループディスカッション

荻手章吾 HILLOCK初等中等部

綿貫 慈 hub代表

お申し込みは
こちら！



10/18(日)
16:00まで

定員60名を超えた場合、抽選になります

主催：hub 後援：渋川市・渋川市教育委員会

資料8

令和8年度の「共生社会推進月間」に実施する取り組みを紹介します

渋川市は、「共生社会実現のまち」を目指し、心のバリアフリーの理念を広めるため、共生社会ホストタウンに登録された10月を「共生社会推進月間」と定め、共生社会の実現に向けた取り組みを重点的に実施しています。

令和8年度は、共生社会推進月間に合わせて心のバリアフリーセミナーを開催し、DET（障害平等研修）を通して共生社会推進の機運を高めます。

1 概要

渋川市は、全ての人がお互いの人権や尊厳を大切にし、支え合い、誰もが自分らしく生き生きとした人生を送り、さまざまな人々の能力が発揮されている活力ある社会の実現を目指した取り組みを進めています。

令和元年に内閣官房から「共生社会ホストタウン」に登録されたことを契機に、共生社会の実現に向けた取り組みを加速させており、登録された10月を「共生社会推進月間」として、重点的に取り組みを実施しています。

2 各所属の主な取組内容

誰もが暮らしやすい社会の実現を目指し、心のバリアフリーの理念の浸透を図るため、共生社会の実現に向けた各種取り組みを実施します。

- (1) 令和8年度「共生社会推進月間」に取り組みを行う所属数＝14
- (2) 令和8年度「共生社会推進月間」に実施する取り組み数＝32

※詳細は別紙のとおり

3 心のバリアフリーセミナーについて

- (1) 日 時 令和8年10月31日(土) 午前10時～正午
- (2) 場 所 渋川市社会福祉センター（渋川ほっとプラザ）4階大会議室
（渋川市渋川1760-1）

(3) 内 容

障害当事者との対話やグループワークを通じて、障害を捉える視点やバリアを解消するための具体的な行動について、当事者と参加者が共に考える機会とするものです。誰もが安心して暮らしやすい社会の実現のために一人一人に何ができるのか、このセミナーを通して参加者自身が考え、気づきを得て、共にその答えを見つけ出します。

- (4) 講 師 DET群馬
- (5) 対 象 どなたでも参加できます
- (6) 定 員 30人程度（先着順）
- (7) 参 加 料 無料
- (8) 申込方法

- ①氏名、年齢、住所、電話番号を、メール（mirai@city.shibukawa.gunma.jp）または電話（0279-25-8419）で総合政策課へ

- ②市ホームページの専用応募フォームからの申し込み

※応募フォームはこちら▶



- (9) 申込期間 令和8年9月9日(水)～10月23日(金)
- (10) そ の 他 託児（定員4人）や移動の介助、手話通訳等を希望する人は、事前に相談してください

4 DET（障害平等研修）とは

障害者自身がファシリテーターを務め、参加者との対話、視覚教材、グループワークを通じて、社会の中にある様々な障害を見抜く力を養うとともに、「障害は個人の問題」という意識から、「障害は周囲の環境を皆で変えることにより解決していく問題」という意識への転換を図り、解決に向けた行動の形成につなげるワークショップ型の研修です。

参考

1 DET群馬について

「DET群馬」は、「DETフォーラム（特定非営利活動法人 障害平等研修フォーラム）」の養成講座を修了したファシリテーターを中心に結成された団体です。

障害の有無に関わらず、多様な人々が暮らしやすく、働きやすい、誰もが自分の住む地域で安心して生活できる「共生社会」の実現を目指し、県内外で活動しています。

2 DET研修の開催実績

- ・令和2年度＝7回／参加者193人
- ・令和3年度＝8回／参加者351人
- ・令和4年度＝10回／参加者550人
- ・令和5年度＝10回／参加者433人
- ・令和6年度＝12回／参加者504人
- ・令和7年度＝10回／参加者519人

3 その他の心のバリアフリーセミナーの取り組み

共生社会の実現に向け、市内小学校において、「あすチャレ！ジュニアアカデミー」を開催しています。

この事業は、パラアスリートを中心とした講師が、パラスポーツを通して「障害とは何か」を自分の視点で考えることを目的とした授業です。講師とのリアルタイムな対話を交えながら、共生社会の実現に向けて何ができるのかを楽しみながら理解を深めていきます。

■問い合わせ先

総合政策部 部長 須田 佳匡（内線2410）

担当：総合政策課（電話0279-25-8419）

課長 小野 篤史（内線2420）

未来政策係長 齋藤 大輔（内線2423）

【令和8年度共生社会推進月間に実施する取り組み】

No	取り組み内容	対象	所管課
1	職員全体が共通意識を持つため、「共生社会シンボルマーク」ピンバッジを着用します（通年）	市職員	総合政策課 (25-8419)
2	「共生社会推進月間」懸垂幕を掲示します（10月1日（木）～30日（金））	市役所本庁舎、渋川駅前プラザ	
3	心のバリアフリーを推進するため、啓発パンフレットを配布します	小学4年生、中学3年生	
4	多様な性への理解を深めるため、啓発リーフレットを配布します	中学2年生	
5	社会にある障害を見抜き、解決に向けた行動につなげるため、心のバリアフリーセミナー（DET）を開催します（通年。10月は10月31日（土）に開催）	市職員、市内中学校、関係団体、市民	
6	パラアスリートとの対話を通じて、共生社会実現に向けた理解を深めるため、心のバリアフリーセミナー（あすチャレ！ジュニアアカデミー）を開催します（通年）	市内小学校	
7	更年期以降の女性に多く見られる心身の不調についての理解を広げるため、10月18日の「世界メノポーズデー」を広く周知します	市民	
8	マイクロモビリティを活用した移動サービスの実証実験を行い、多様な移動手段の確保に向けた検証を実施します	市職員、市民	
9	年齢や性別、国籍、障害の有無に関わらず、様々な人が一緒に楽しめるユニバーサルスポーツの体験教室を開催します（10月4日（日））	市民	(公財)渋川市まちづくり財団 (しぶかわスポーツクラブ) (26-3009)
10	共生社会に関連する団体と市が意見交換を行う「チーム渋川ミーティング」を開催します（通年）	市民	広報課 (22-2182)
11	車椅子や足が不自由な人など窓口まで来ることが困難な場合は、職員が向かい対応するなど、心のバリアフリーの視点による窓口サービスを実施します（通年）	市民	市民課 (22-2459)
12	日本語学習の機会を提供するため、日本語教室を開催します（通年）	外国籍の人	市民協働推進課 (22-2463)
13	日本の伝統文化に親しむ機会を提供するため、「外国人のための日本文化教室」を開催します（通年。10月は10月31日（土）に開催）		
14	市内イベントや休日当番医などを英語で紹介する「しぶかわカレント」を配布します（通年）	市内在住の外国籍の人	
15	市民参加の手話コーラス発表を行い、聴覚障害者への理解及び手話の普及を図ります（10月18日（日））	市民	社会福祉課 (22-2359)
16	市で作成した手話学習教材の動画を、市公式Youtubeで配信します（通年）	市民	

【令和8年度共生社会推進月間に実施する取り組み】

No	取り組み内容	対象	所管課
17	出前手話教室を開催し、手話の理解及び普及を図ります（通年）	市内小中学校	社会福祉課 (22-2359)
18	市民、観光従事者、医療機関従事者向けの手話教室を開催します（通年）	市民、観光従事者、医療機関従事者	
19	認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らしていける地域づくりのため、認知症サポートディオレンジケア in 渋川・北群馬を開催します（10月25日（日））	市民	高齢福祉課 (22-2179)
20	高齢者や認知症について理解を深めるため、認知症サポーター養成講座を開催します（通年）		
21	高齢者や認知症について理解を深めるため、お話や寸劇、クイズを通して認知症の方との関わり方を学ぶ「小学生のための認知症まなびの講座」を開催します（通年）	市内小学校	
22	手話通訳士及び聴覚障害者を派遣し、園児が遊びながら手話に触れられる手話あそび体験を実施します（通年）	保育園、保育所、幼稚園、認定こども園	こども課 (22-2415)
23	外国語コミュニケーションツールを活用し、窓口相談や訪問指導を実施します（通年）	市内在住の外国籍の人	健康増進課 (25-1321)
24	労働環境整備など誰もが働きやすい職場環境づくりに取り組む事業者へ、「誰もが働きやすい職場環境づくり応援事業補助金」を交付します（通年）	市内中小企業者	商工課 (22-2596)
25	「観光施設における心のバリアフリー認定制度」の周知などを通して、誰もがより安全で快適な旅行を楽しむことができる観光地づくりを推進します（通年）	宿泊施設関係者	観光課 (22-2873)
26	アイマスクを付けて歩行する体験を通して、視覚障害への理解を深めます（通年）	市内小学校	学校教育課 (22-2121)
27	点字を打つ体験を通して、視覚障害への理解を深めます（通年）		
28	車椅子に乗ったり押したりする体験を通して、肢体障害や介護への理解を深めます（通年）	市内小中学校	
29	視野が狭くなるゴーグルや重りを付けて行動する体験を通して、高齢者の生活上の困難さや介護の重要性についての理解を深めます（通年）		
30	市民が主催する学習会などへ、「共生社会実現のまち渋川市」「障害者福祉」「高齢者福祉」「渋川市の国際交流の取り組み」等に係る担当職員を派遣し「しづかわ出前講座」を実施します（通年）	市民	生涯学習課 (22-2500)
31	市内在住の障害のある人や妊婦などで1人では来館できない人を対象に、市立図書館所蔵資料を職員が無料配送します（通年）	1人では来館が困難な人	渋川市立図書館 (22-0644)
32	常設展示室の彫刻は年齢や障害の有無に関わらず手で触れて鑑賞することができます（通年）	どなたでも	美術館 (25-3215)

心のバリアフリーセミナー

DET参加者募集

(障害平等研修)

10月は「共生社会推進月間」です

日時	10/31(土) 午前10時～正午
会場	渋川市社会福祉センター (渋川ほっとプラザ) 渋川市渋川1760番地1 4階 大会議室
定員	30人程度(先着順)
申込方法	・応募フォーム ※右記二次元コードを読み取ってください。 ・メールまたは電話 ※氏名、年齢、住所、電話番号をご連絡ください。 ※電話での申込みは、平日の午前8時30分から午後5時15分まで
申込期間	令和8年9月9日(水)から 令和8年10月23日(金)まで
その他	託児(定員4人)等やその他参加に当たって配慮を希望する人は、申込み時に伝えてください。

詳しくは、
市HPを
ご覧ください⇒



群馬県社会福祉のまち
渋川市

渋川市役所本庁舎2階
総合政策部総合政策課

〒377-8501 渋川市石原80番地
電話 0279-25-8419
FAX 0279-24-6541
メール mirai@city.shibukawa.gunma.jp

障害の有無に関わらず、だれもが自分らしく生き生きと生活できる共生社会の実現へ向けて、
「心のバリアフリー」
に取り組みましょう。

応募フォーム



講師 DET群馬



DETとは

障害のある人自身が講師となって進行する、ワークショップ形式の研修です。

このチラシの文字には、ロービジョン(弱視)、ディスレクシア(読み書き障害)に配慮した字体である「UDフォント」を採用しています。



DET（障害平等研修）とは、障害のある人自身がファシリテーター（進行役）となり、ファシリテーターとの対話、視覚教材やグループワークを活用して学ぶ、発見型の研修です。社会の中にある様々なバリアを見抜く力を養い、「障害は個人の問題」という意識から「障害は周りの環境を皆で変えていくことにより解決していく問題」という意識への変革を図り、社会の中のバリアを解決するための行動につなげることを目的としています。

DET群馬について

「DET群馬」は「DETフォーラム（特定非営利活動法人 障害平等研修フォーラム）」の養成講座を修了したファシリテーターを中心に結成され、障害者を含む多様な人々が暮らしやすく働きやすい、誰もが自分の住む地域で安心して生活できる「共生社会」を築こうと県内外で活動を行っています。

共生社会について

共生社会とは、すべての人がお互いの人権や尊厳を大切にし、支え合い、誰もが生き生きとした人生を送ることができる社会のことです。さまざまな人が分け隔てなく生活し、人々の能力が発揮されている活力ある社会です。

「心のバリアフリー」

「心のバリアフリー」とは、さまざまな心身の特性や考え方を持つ誰もが笑顔で暮らせるように、私たち一人ひとりが、相互に理解を深めようとコミュニケーションを取り、相手の気持ちになって考え、行動し、支え合うことです。

「合理的配慮」

障害のある人は、社会にあるバリアによって生活しづらい場合があります。

「合理的配慮」とは、障害のある人が、バリアに対して何らかの対応を求めているとき、負担が重すぎない範囲で対応することです。

令和3年に障害者差別解消法が改正され、事業者による障害のある人への合理的配慮の提供が令和6年4月1日から義務化されました。

資料9

熊本地震派遣職員による市長報告を実施します

令和8年7月に発生した熊本地震で、群馬県の災害対応支援チーム第2班、第3班として被災地に派遣された渋川市職員から市長へ帰任報告を行います。

1 概 要

令和8年熊本地震による被災自治体への支援として、群馬県災害対応支援チームへ渋川市から職員2名を派遣しました。現地で支援活動を行い、帰庁した職員から、市長へ帰任報告を行います。

2 派遣内容

(1) 派遣先 熊本県熊本市

(2) 派遣期間・派遣職員

①第2班：令和8年8月14日～20日

市民生活部税務課資産税係 主事 田島 未来（たじま みく）

②第3班：令和8年8月19日～25日

市民生活部税務課資産税係 主査 町田 一慶（まちだ かずよし）

(3) 業務内容 被災した家屋の被害認定調査

3 報告会の開催

(1) 日 時 令和8年9月28日(月) 午後1時30分

(2) 場 所 渋川市役所本庁舎2階 記者会見室

(3) 報告者

・第2班：市民生活部税務課資産税係 主事 田島 未来

・第3班：市民生活部税務課資産税係 主査 町田 一慶

■問い合わせ先

市民生活部 部長 堀口 幸則（内線1110）

担当：危機管理課（電話0279-22-2130）

課長 小林 悟（内線2180）

危機管理係長 新保 悟（内線2185）

令和8年度「しぶかわ環境まつり」を開催します

環境省が定める3R（リデュース・リユース・リサイクル）推進月間の10月に合わせて、しぶかわ環境まつりを開催します。

今年度は新たに、3Rなどをテーマにした「超速戦士G-FIVE」のヒーローショーを行います。

1 概 要

渋川市は、ごみの減量化の推進と環境への意識向上を図るため、しぶかわ環境まつりを開催します。展示・体験コーナーを巡るスタンプラリー、衣類のリユース回収、集積所にごみとして出せないタイヤなどの有料回収などを行うほか、「私の食品ロス削減アイデアコンテスト」入賞者の表彰式も併せて実施します。

2 日 時 令和8年10月4日(日) 午前9時～正午

3 会 場 子持ふれあい公園（渋川市吹屋658-1）

4 内 容

(1) 超速戦士G-FIVEのヒーローショー

群馬県を拠点に活動している「超速戦士G-FIVE」が、3Rなどをテーマにしたヒーローショーを午前11時から行います。

(2) 衣類のリユース回収コーナー

燃えるごみとして捨てられてしまうことが多い「衣類」を無料で引き取り、リユース事業者を通じて再利用につなげます。

(3) 小型充電式電池の回収

日頃、渋川市役所環境課の窓口で回収している「リチウムイオン電池」や「モバイルバッテリー」などの小型充電式電池を、会場で回収します。

※膨張や変形しているもの、小型充電式電池の取り外しができない製品も回収します

(4) プラマークとごみ袋の交換

プラマークの付いたプラスチックごみ2点以上と、渋川市のプラスチック専用の指定袋（大サイズ）1枚を交換します。

(5) 牛乳パックの交換回収

牛乳パック1kgにつき、トイレットペーパー3個（上限は1世帯18個まで）と交換します。

(6) おもちゃの病院コーナー

物を大切にする心を育むため、壊れたおもちゃを診察、修理します。

(7) スタンプラリー

展示・体験の各コーナーを巡り、スタンプを集めた人に、景品を配布するスタンプラリーを実施します。

- ・ボカシ肥料作りの実演
- ・いろいろな発電を体験してみよう
- ・手回し発電機で鉄道模型を動かそう！「ソーラートレイン」
- ・空き缶つりゲーム
- ・環境に優しい路線バスの展示と乗り方体験
- ・小型モビリティ安全講習会
- ・無料ゲームと試食コーナー

(8) 処理困難物の回収コーナー

通常は、集積所にごみとして出せない処理困難物の回収を行います。

- ・家電4品目（テレビ・冷蔵庫・洗濯機・エアコン）の有料回収
- ・消火器の有料回収
- ・タイヤの有料回収
- ・バッテリーの無料回収

5 運 営 渋川市環境美化推進協議会に委託し、実施します

参考

過年度の実施状況

(1) 令和6年度

- ・実施日：令和6年10月27日
- ・内 容：展示・体験コーナー、牛乳パックの交換回収コーナー、おもちゃの病院コーナー、処理困難物の回収コーナー、リユース品の回収コーナー
- ・来場者数：約3,100人

(2) 令和7年度

- ・実施日：令和7年10月5日
- ・内 容：展示・体験コーナー、牛乳パックの交換回収コーナー、おもちゃの病院コーナー、処理困難物の回収コーナー、リユース品の回収コーナー、小型充電式電池の回収コーナー、プラマークとごみ袋の交換コーナー
- ・来場者数：約2,900人

■問い合わせ先

市民生活部 部長 堀口 幸則（内線1100）

担当：環境課（電話0279-22-2114）

課長 入澤 仁（内線1140）

生活環境係長 高橋 昭仁（内線1141）

令和8年

10月4日

日

午前9時

—

正午



http://www.g-five.net

牛乳パックの交換

牛乳パック1kgにつき、トイレトーパー3個（**1世帯18個まで**）と交換します

※持ち帰り用の「マイバッグ」などを、必ず用意してください



プラマークとごみ袋の交換



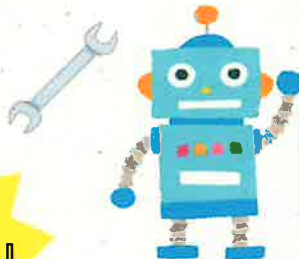
プラマークの付いたプラスチックごみを2点以上、会場へ持参した人に対して、

市のプラスチック専用の指定袋(大)1枚を交換します



おもちゃの病院

壊れたおもちゃを診察、修理します



午前11時から
『超速戦士G-FIVE』
のヒーローショー
を行います

しづかわ 環境まつり

／ 会場 ／

子持ふれあい公園
(渋川市吹屋658番地1)

処理困難物の回収

ごみとして集積所に出せない処理困難物を回収します

※車での搬入ができます



小型充電式電池の回収

「リチウムイオン電池」や、「モバイルバッテリー」などの小型充電式電池を回収します



※膨張や変形しているものも回収します

衣類のリユース回収

燃えるごみとして捨てられてしまうことが多い衣類を回収し、再利用につなげます

- ・トップス ・ボトムス
- ・ジャケット ・スカート
- ・シャツ など

※衣類のみが対象です



スタンプラリー・模擬店

会場内の展示・体験コーナーを巡り、スタンプを集めた人に景品を配布します



〔展示・体験コーナー（予定）〕

- ◆ ボカシ肥料作りの実演 ◆ いろいろな発電を体験してみよう
- ◆ 手回し発電機で鉄道模型を動かそう（ソーラートレイン）
- ◆ 資源と遊び・学び（空き缶つりゲーム）
- ◆ 路線バスの展示・バスの乗り方体験
- ◆ 小型モビリティ 安全講習会 ◆ 無料ゲーム・試食



『しづかわ環境まつり』の詳しい開催内容は、渋川市ホームページ（左の二次元コード）や、広報しづかわ9月号で確認できます



かき氷販売
コーナーも
あります

しぶかわ推し第2弾（絶景）で新たに2件を認定しました

渋川市は、「これぞ渋川」と市内外に自慢できるモノを「しぶかわ推し」として認定しており、現在、第1弾：メニュー（料理・菓子・加工食品）と第2弾：ビュースポット（お薦めの絶景）を募集しています。

この度、SNSでの「いいね」を集めた2件を、しぶかわ推し認定審査会の審査を経て、新たな「しぶかわ推し」として認定しました。

今回の認定を含めて、第1弾は44件、第2弾は15件が「しぶかわ推し」として認定されています。

1 概 要

「しぶかわ推し」は、市内にある地域資源や飲食物等の魅力を、新たな「市の宝」、「市民の誇り」として醸成していく認定制度です。

現在、第1弾（料理・菓子・加工食品）と第2弾（ビュースポット）を募集しており、新たに2件がSNSでの「いいね」を集め、しぶかわ推し認定審査会の審査を経て、「しぶかわ推し」として認定されました。

今後、認定された「しぶかわ推し」を、市公式Instagramへ投稿したり、市公式YouTubeで配信したりするなど、市の魅力度向上と地域経済の活性化につなげていきます。

2 「しぶかわ推し」第2弾（令和8年8月27日認定）

河鹿橋と新緑 (伊香保地区)	黒井峯遺跡への一本道と気になる木 (子持地区)
 	 

参考

1 「しぶかわ推し」認定までの流れ

- (1) 候補の応募
- (2) 市公式ホームページ及びInstagramで候補を紹介
- (3) 市公式Instagramで「いいね」が50集まった候補を、しぶかわ推し認定審査会で審査
- (4) しぶかわ推し認定審査会の審査基準①～③の全てにおいて、審査員11人の過半数の評価を得たものを市長が「しぶかわ推し」として認定

【審査基準】

- ①市の誇りとして、市内外にPRできるものであるか
- ②市の宝として、市民に愛されていくものであるか
- ③地域の活性化につながるものであるか

2 しぶかわ推し候補・認定数（令和8年8月27日現在）

- (1) 第1弾（メニュー（料理・菓子・加工食品））令和6年6月1日募集開始
応募47品（うち認定44品、候補2品、候補取消1品）
- (2) 第2弾（ビュースポット（絶景））令和8年3月16日募集開始
応募18件（うち認定15件、候補3件）

※しぶかわ推しのホームページはこちらから▶



3 これぞ！しぶかわ推し

「しぶかわ推し」の認定品を紹介するショート動画を、渋川市公式チャンネル（YouTube）で配信しています。

※渋川市公式チャンネル（YouTube）はこちらから▶



■問い合わせ先

総合政策部 部長 須田 佳匡（内線2410）

担当：広報課（電話0279-22-2182）

課長 熊迫 徳三（内線2419）

シティブランド発信係長 坂本 和馬（内線2416）